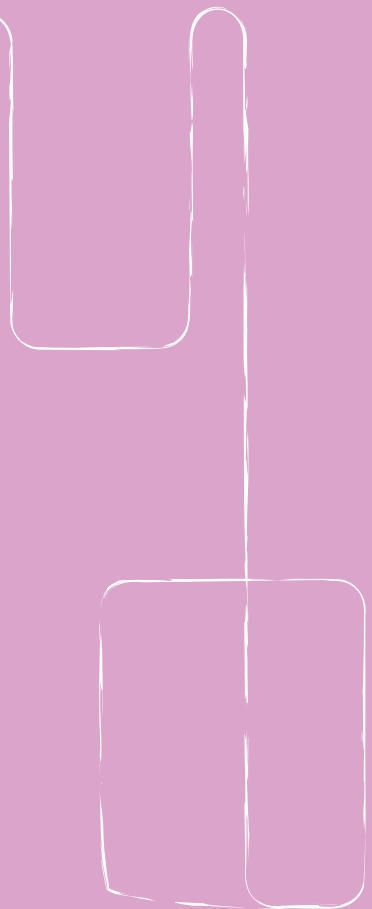
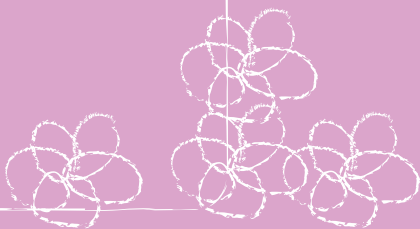
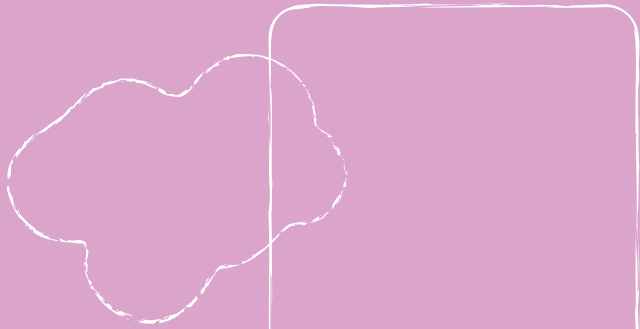
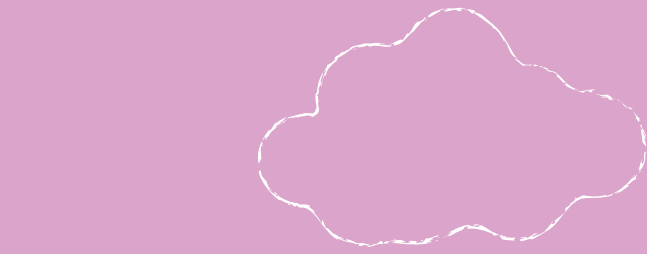




第六章

快適に暮らす 環境づくり

Creating an Environment
for Comfortable Living





City Environment

Making of Uruma



都市環境

街並みや緑化になどに考慮した景観づくりをめざします。

沖縄本島のほぼ中央に位置し、沖縄本島の北部圏域、南部圏域を結ぶ地理的・地形的条件に恵まれていることから、沖縄自動車道の石川インターチェンジや沖縄北インターチェンジからのアクセスにより市民の生活圏の拡大のみならず、沖縄観光の拠点的役目を果たしています。

本市はちょうど金武湾を囲むように細長い地形となっており、各地域を地形、都市機能、地域資源等で共通要素をもつ7つの地域（北西地域、北部市街地地域、北東海岸地域、中部市街地地域、南部海岸地域、南部市街地地域、島しょ地域）を設定し、将来の地域別のまちづくりを進めています。

今後、沖縄県の中核都市としての役割を担うため、市内外を連絡する国道329号や主要地方道などの既存道路と市循環道路を中心とした主要道路網の整備を推進し、災害時対策、交通渋滞の解消、買物など日常生活の利便性の向上等を踏まえた生活道路ネットワークの形成を図ります。

歴史・文化、自然を生かした個性ある都市景観の形成

魅力ある市街地や美しい集落環境を生み出すためには、まち並みや緑化などに配慮した景観づくりが大切です。良好な自然や歴史資源を生かした美しい景観を守り育成するため、市民の意識を高め、美しい街並み景観の形成を図ります。

Urban Environment

Uruma City, to fulfill its role as one of the major cities of Okinawa Prefecture, will upgrade its primary land transportation network by building new roads and improving the conditions of existing roads, including Route 329 that runs through the city and many other roads that link Uruma and other municipalities. The upgraded network will have better measures against disasters, reduce traffic congestion, and offer a dramatic increase in convenience and efficiency.





Living Environment

Making of Uruma



生活環境

台風や地震などあらゆる災害を想定し、常に市民の安全を考えています。

市民の生命と財産を守るためには、災害に強いまちづくりを進めていくことが大切です。消防行政については、市民の生命・身体・財産を火災から擁護するとともに、自然災害などを防除し被害を軽減していくため消防施設の整備・拡充を図っています。また、石油コンビナート地域における自主保安体制および危険物施設の安全対策の充実強化、防火思想の普及高揚を図っています。

年々増加する救急業務に対応するため、救急救命士の養成、救急隊員の研修及び各種訓練に努めるとともに、救急効果の向上を図るため地域住民に対する応急手当の講習会を実施しています。交通安全対策に

ついては関係機関や団体と連携し、交通安全思想の普及や交通道德の啓発を推進しています。

また、快適な生活環境や自然環境を守るため、工場や畜舎等の施設及び生活排水などの河川流入による水質汚染濁の測定その他、監視等パトロールの強化を図るなど指導體制を確立し、市民の健康保護と生活環境の保全に努めています。公共下水道については快適で潤いのある豊かな生活環境を確保するため、普及と接続率の向上に努めています。ごみ処理については、ごみの減量化と再資源化を図るために、ごみ袋の指定制やごみの分別等により循環型社会の構築に取り組んでいます。

Living Environment

To protect the lives and assets of its people, it is important that a city must be built to sustain disasters.

Uruma City is implementing measures to protect the lives and assets of its people against disasters, and is building and improving fire protection facilities to alleviate possible damages from natural disasters.





Housing Environment

Making of Uruma



住居環境

みなさまが安心して過ごせる環境をめざして

快適で暮らしやすい 住環境の整備

市民が身近にスポーツやレクリエーションを楽しめる場としての公園・緑地を整備推進し、周辺地域の土地利用に配慮した土地の集約化に努めます。

市内各地に散在する個別の墓地等については、周辺の環境に配慮した墓地公園等の整備に努めます。

Housing Environment

Effective use of land, environmentally conscious buildings that harmonize with their natural environment, and all barrier-free rooms for senior citizens and the physically disabled – Uruma City is working to improve the housing environment for its people to provide comfort and safety.

本市には現在、市営住宅446戸、県営住宅1,377戸、公社住宅56戸の公営住宅があり、住宅の質の向上や良好な住宅環境の形成に努めています。今後は、需要をみながら適正に供給していきます。公営住宅等の建替えにあたっては、土地の有効利用、自然環境との共生・共存、景観への配慮、全室バリアフリー化など高齢者や障害者にも住みやすい安全で快適な住環境の整備に努めています。

安慶名土地区画整理事業については、都市の再生を目指した快適で暮らしやすい住環境の整備に取り組んでおります。

